

会 議 録

1 会議名

平成30年度第5回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

地域活動支援事業について（公開）

【協議事項】

自主的審議事項について（公開）

3 開催日時

平成30年12月4日（火）午後6時30分から午後7時47分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、小林奎一、佐藤寿美子、
佐藤峰生、坪田 剛、荷屋和夫、樋口清和、平野宏一、山田ヒロ子、
横田正美（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：樋口委員に依頼

議題【報告事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

以前、委員の皆さんから地域活動支援事業の検証を行っていただき、いろいろな意見を出していただいた。その意見を踏まえ、市で検証を行ってきた結果を11月14日(水)に開催された会長会議で示させていただいた。

当日配付された資料を元に説明させていただく。

- ・資料No.1「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直し方法等」、
参考資料「地域活動支援事業に係る各区の検証・検討等と市の案・見解」、
資料No.2「平成31年度地域活動支援事業案の概要」に基づき概略説明
当日は会長から出席していただいたが、補足等あればお願いしたい。

【高橋会長】

会議では、地域活動支援事業についての検証結果と今後の取扱いについて意見交換を行ったが、結局は現状と変わらないのではないかという意見があったり、制度を活用しにくくなるように変更されても困るという意見があったりした。

私も各地域協議会で地域の独自性を発揮することや特殊性を生かすことが大事だと思っているので、ほかの地域で行っているから当区もこうしなければいけないということに囚われる必要はないと思っている。

配付された資料を読んでもらいたいが、原則的には今までと変わらないという認識でお願いしたい。

事務局の説明に対し、意見等はあるか。

【安達副会長】

今後に向け、地域の力をどのようにしたら形として成っていくのかということについて、皆さんから意見をもらいたいと思っている。

【平野委員】

町内会館等の修繕についての取扱いはどのようになったのか。

【滝澤センター長】

扱い方としては今までと変わらない。市民の活動が伴うことが前提であるが、町内会館を当事業で修繕する場合、修繕したことによって地域にどのように貢献されるのかということである。一町内の建物を当事業で修繕等することの公平性や、提案内容について地域協議会がどのような判断をするかである。

【高橋会長】

市としてはハード面よりソフト面を重視する傾向があるため、修繕よりは地域の方々が一緒になって何か活動をしたり、伝統文化を守っていったりというほうが重視されている。

例えば、会館や道路を直したいと提案する場合は、提案書類を作りやすいと思うが、その事業を行うことによって、どう地域に貢献されるのかということに記載しなければならず、書くのも大変になってくる。会長会議の際にもそのような話が出ていた。事務作業が慣れている人がいる提案団体は良いが、慣れている人がいないと提案したくても文章を書くだけでも大変である。

【佐藤峰生委員】

私の町内でも防犯灯のLEDの更新作業を、地域活動支援事業を活用して行ったが、それをきっかけにほかの町内でも町内会負担だが、すべての防犯灯がLEDになった。そして、今年は茶屋ヶ原町内の乳母獄神社の舞台を、地域活動支援事業を活用し修繕した。今年は修繕した舞台でイベントを開催していたが、来年以降も新たなイベントを開催する予定だそうだ。地域活動支援事業を活用し、町内会館を修繕する場合、それをきっかけに何か活動をしていくということをセットにして提案いただき、結果として、地域の課題が解決していくのであれば賛成である。一町内で完結するのではなく継続的に事業を行い、事業と事業がつながっていくような提案が出されれば良いと思っている。

【佐藤寿美子委員】

今年、「くわどり謙信公トレイル大会」で当事業を活用させていただき、当日はたくさんの方々から来ていただいた。だが、地元の方々が少なかったのも、そういった方々を呼ぶためにはどのようにしたら良いのかということが課題だと感じた。

【高橋会長】

会長会議では、いろいろな意見が出ていたが、今までのやり方を踏襲して行うということなので、来春に向け採択方針等を協議していき、より多くの方々から提案していただき地域の活性化に繋げていただきたいと思います。

ほかに何かあるか。

【樋口委員】

今は議題の報告事項を行っているのではないかと。その後に協議事項も控えているので、報告だけして議事を進めて良いのではないかと。

【高橋会長】

いろいろな考えがあると思うが、皆さんはどうか。

【平野委員】

報告を受けたことに対して、分からないことがあれば質問をしても良いのではないかと。

【高橋会長】

地域活動支援事業の検証結果を皆さんから見てもらい、それに対して何かあれば伺いたいと思っている。何もないのであれば報告だけで終わりということになる。

【荷屋委員】

平成30年度と変わらないということであればそれで良いと思っている。採択方針等を各地域協議会で決めて良いということであれば、提案に対し、当区としてどのように採択していくかを協議していけば良いのではないかと。

【高橋会長】

会長会議では、補助率や追加募集についても議論があり、地域活動支援事業の採択協議で時間を費やしてしまい、自主的審議をする時間がないという区もあり、追加募集を行わなくても良いのではないかとという意見もあった。

- ・ほかに意見等はなく、報告事項は終了とする

次に**【協議事項】**自主的審議事項についてだが、地域協議会が地域の課題を見つけながら取り組むべきものであり、地域の課題を自主的審議事項として協議し、一定の方向が決まったら市へ提言することもできる。

【滝澤センター長】

谷浜・桑取区の自主的審議事項として「子育て支援について」を今まで何度か協議をしていただいている（現在は休止中）。ほかに自主的審議事項として協議していくテーマがないかということで委員の皆さんから提案していただき、昨年10月の地域協議会にて自主的審議事項として協議していくかを話し合っていた。結果、自主的審議事項とはせず、今後も必要に応じて話し合いを行っていくこととなっており、現在は課題等がない状態である。

本日は、資料No.3を参考にさせていただきながら、皆さんが日頃感じている課題等があれば出していただきたいと思っている。

【高橋会長】

自主的審議事項については、谷浜・桑取区で過去に1件だけ意見書を市へ提出してい

る。内容は「海岸浸食の対策について」で、市から県や国へ働きかけをしてもらった。

自主的審議について何かあるか。

【安達副会長】

当区にはいろいろな組織があると思うが、組織間の連携や、どのようなことをして何を議論しているのかということをも委員自体も把握していないと思うので、知っておく必要があるのではないかと。老人クラブについても各町内にあるが、実態はどうなっているのか。

各団体で頑張っていることが繋がっていくような方法はないか。バラバラでも良いと思うが、そこに住んでいる人たちの目には見えてこないと思うので、頑張りが見えてくるような仕掛け作りが大事だと思っている。

資料No.3の各区の自主的審議事項内に「消防団及び自主防災組織のあり方と連携について」とあるが、当区はどうなっているのか。消防団等に関して知っている委員はいるか。消防団や自主防災組織の方々が何かで困っているのなら応援する方策等を考えることはできないか。

結論は出さなくても良いと思うが、応援したいというものがあれば出していただきたいと思っている。

【高橋会長】

全ての活動を拾い上げていくのは大変だが、まずは一つの団体に絞って話し合っていくのも良いのかもしれない。

消防団については各地域で消防団員が足らずに困っている。谷浜・桑取区に住んでいなくても消防団に入ってくれている人もいる。

【荷屋委員】

安達副会長が言うようにいろいろな組織があり、大体が町内会長を中心に役員になっていると思うが、会議等に出席したあとの住民へのフィードバックがないため、何をどのように話していて、現在どうなっているのか等を住民の方々に伝えないと全く分からないと思う。町内会長が町内の住民に分かるように文書で回覧等をしなければ、高橋会長や安達副会長が話している件は解決しないのではないかと。

【高橋会長】

自主的審議事項として、地域の各団体から意見を聴く場を設け、そこで出た意見を住民へ知らせていく活動を付け加えていっても良いと思うがどうか。

【坪田委員】

谷浜・桑取地区町内会長連絡協議会（以下、町内会長連絡協議会と表記）は年1回会議を行っている。年1回だけで町内の課題を提起できるのか疑問を感じている。年に1度、町内会長が集まり会計報告等を行っているが、形式的なものでしかない。組織としての役割を果たしているのかと言われれば、少し疑問が生じてしまう。

【高橋会長】

私も以前、町内会長を務めていたことがあるが、坪田委員がおっしゃられるように、大事な会議ではあるが、年に1回の形式的な会議になってしまっている気がした。地域振興に対する議論が活発になってきてくれれば良いと思うが、起爆剤みたいなものを地域協議会も一緒になって作ってあげれば良いと思っている。

【坪田委員】

町内会長の負担が大きいのかもしれない。会議があっても同じ人たちが出席しているので同じ考え方しかできず、それはあまり好ましくないと思っている。やはり昔から一人一役と言われているようにある程度広めた中での役員構成を幅広く持っていかれたほうが、より幅広い考え方が出てくるのかもしれない。どこの町内会を見ても町内会長がいろいろな役職を兼務されている。

【平野委員】

兼務していたほうがやり易いのではないか。

【坪田委員】

ほかの人は他力本願になってしまう。私もそうだが、ほかの人がやってくればその人に全てお任せした状態になる。町内会も町内の住民が一緒になっていろいろな意見を出し合って行かないとなかなか活性化していかない。

【高橋会長】

各町内会長は町内のことだけで忙しく、町内会長連絡協議会や谷浜・桑取地域振興協議会（以下、振興協議会と表記）の議題を拾いながら活動していくのは難しくなっている。

【安達副会長】

町内会長の会議でもそうだが、老人会の関係や趣味の会を中心とした会など、ほかにもいろいろな会があると思う。それに関する資料を集めたり、話し合いの場を設けたりすることからしてみてもどうか。

【佐藤峰生委員】

地域にある各種団体が個別で活動しているが、次年度からは各団体が連携を取り、大きな活動をする事ができる組織を作ってみてはどうか。私も町内会長を兼ねているが、今出ている意見を町内会長連絡協議会や振興協議会で出そうと思っている。結論は出なくても谷浜・桑取区の最重要課題は何なのか、という議論をすべきだと思っている。各種団体の代表者からも集まってもらって、それぞれの会に出ている課題を持ち寄り、優先順位を付けて振興協議会の予算を充てていくべきだと考えている。

【高橋会長】

確かに団体同士の横の繋がりを持っていければ良いと思う。

【安達副会長】

小さな老人クラブでは、入ってくれる人がおらず困っているという話をしている。だが、他町内の老人クラブの方々と話したら加入に対するいろいろなやり方が出てくるのかもしれない。

各町内のいろいろな団体を委員の皆さんから出してもらい、どんな活動をしているのかを確認しながら、困っていることがあれば地域活動支援事業費補助金で事業を後押しできないか、ということに繋がるかもしれない。

【高橋会長】

3月に行う地域活動支援事業の募集説明会で、いろいろな団体へ声掛けをし、その場で個別に話し合いができるような時間を設けてはどうか。時間が合わないようなら別日に意見交換の場を設けることも可能である。

【小林委員】

意見交換を行うのであればテーマを掲げないと何も意見は出てこない。

老人クラブの件は、何歳になったら強制的に加入するというふうにしなないといけないのではないかと。待っていても人は来ない。

地域活動支援事業についても、提案された事業について、私たちがしっかりと審査し、採決すれば良いため、どんな内容の提案でも良いと思っている。提案の段階で採否を考えていたら提案できないのではないかと。

【高橋会長】

では、3月の地域活動支援事業募集説明会に多くの団体から参加していただけるようにし、別の日に提案者だけではなく地域で活動されている団体の方々との意見交換の場

を設けられればと思っている。消防団についても役員の方々から来てもらい地域の防災についてどうなっているのかという話を聴いたり、県道の整備を進めるために話し合いを行ったりするのはどうか。

- ・自主的審議事項について、ほかに何か意見を求めるがないため、自主的審議事項については終了とする。

次に、「その他」について事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

今回の協議会は1月下旬から2月上旬を考えており、来年度の地域活動支援事業の採択方針等を協議していただきたい。自主的審議事項については、今後も継続して協議していただきたいと思っている。

先ほど話題に上った他団体との話し合いの場については、地域活動支援事業募集説明会に毎年、地域の方に参加いただいているため、次回協議会までに説明会のやり方も含め、案を出させてもらいたい。説明会とは別に意見交換会を開催するのであれば、協議内容について皆さんと相談しながら進めていきたいと思っている。

【小林委員】

他団体との話し合いについては、一気に行ってしまうと発言する人が限られてしまい、意見を出しづらいということが出てくるかもしれないので、3回程度に分けて行ってみたいかどうか。

【滝澤センター長】

承知した。どのような進め方が良いか、事務局としても検討してみる。

【高橋会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。